













配信先:沖縄県政記者クラブ、文部科学記者会、科学記者会 宮城県政記者会、長浜市記者室、兵庫県教育委員会記者クラブ、神戸民放記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ

報道解禁日時:

令和3年8月4日午前8時01分(日本時間)以降

令和3年8月2日 大 琉 球 学 北 大 学 東 長浜バイオ大学 和歌山工業高等専門学校 戸 大 学 沖縄科学技術大学院大学 国際農林水産業研究センター

メダカはインド亜大陸に乗ってやって来た

~メダカ科魚類の網羅的系統解析~

琉球大、東北大、長浜バイオ大、和歌山高専、神戸大、OIST、国際農研ら国内外の20の研究機関から成る国際共同研究チームによる研究成果が、生物学の学術雑誌「Biology Letters」誌に掲載されます。

本件に関する取材については、下記のとおりになりますので、よろしくお願いします。

<発表のポイント>

- ◆世界中からメダカ科魚類を収集し、 網羅的系統樹の推定に成功した。
- ◆メダカ科魚類の共通祖先はインド亜 大陸に起源し、ユーラシア大陸に衝突 した後にアジアに分布を拡大していった。



セトナイメダカ Oryzias setnai

◆メダカの共通祖先は、インド亜大陸上で、恐竜たちも絶滅した中生代末の大量 絶滅を生き残った。

記

日 時:随時連絡可

場所:琉球大学熱帯生物圏研究センター

内容等:別紙参照ください。

【問い合わせ先】

琉球大学熱帯生物圏研究センター

教授 山平 寿智

TEL: 098-895-8937

E-mail: yamahira@lab.u-ryukyu.ac.jp





東北大学











(別紙)

<発表概要>

① 研究の背景

童謡「めだかの学校」に謡われるように、メダカ は日本人に馴染みの深い魚の代表格と言えます。日 本のメダカ(ミナミメダカとキタノメダカ)を含む メダカ科魚類は、これまでに37種が知られてお り、東南アジアを中心に、西はインドから東は日本 列島まで広く分布しています(図1)。しかし、メダ カ科魚類の共通祖先が、いつどこで誕生したかにつ いては、これまで明らかになっていませんでした。

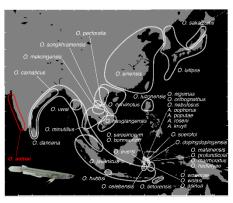


図1 メダカ科魚類の地理的分布.

② 研究内容

琉球大、東北大、長浜バイオ大、和歌山高専、神戸大、東山動植物園、OIST、農研機 構、国際農研、京都大、遺伝研ら国内の13の研究機関、ならびにインド、ベトナム、ラ オス、ミャンマー、タイ、およびインドネシアの6カ国7つの研究機関から成る国際共同 研究チームは、世界中からメダカ科魚類を収集し、ミトコンドリア全ゲノムと5つの核遺 伝子の塩基配列の解析から、メダカ科魚類のルーツに迫りました。その結果、西インドの

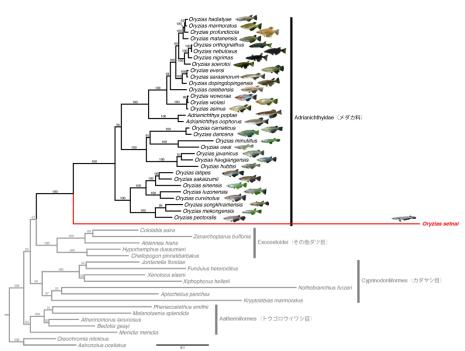


図2 ミトコンドリアDNAの塩基配列(11,233塩基対)および5つの核遺伝子(RAG1, Myh6, SH3PX3, Zic1, およびTMO-4C4) の塩基配列(4.204塩基対)を用いて推定したメダカ科魚 類の系統樹、セトナイメダカ(Oryzias setnai)は、メダカ科魚類の系統進化の中で最も古く に分岐した.

西ガーツ地方 (注1) に固有 のセトナイメダ カ (Oryzias setnai) が、メ ダカ科魚類の系 統進化の中で最 も古くに分岐し た種であり、そ の他の東南アジ アや東アジアの 種は、全てセト ナイメダカと姉 妹関係(注2) にあることがわ かりました(図 2)。















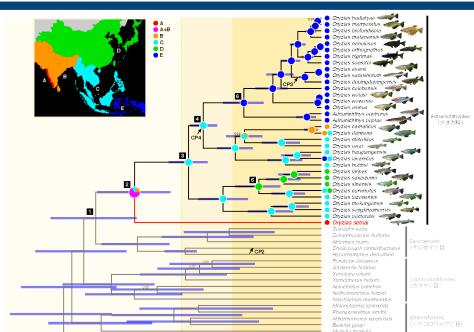


図3 化石等を較正点(CP1~CP4)として用いたメダカ科魚類の分岐年代推定,および現存種の 分布域に基づく祖先分布域の最尤推定(円グラフ). セトナイメダカ(Oryzias setnai)は、中生代後 期の7,400万年前に、インド亜大陸(エリアA+エリアB)で分岐した(分岐番号2)。

ユーラシアに衝突

Mya (百万年前)

さらに、化 石の情報を元 にメダカ科魚 類の分岐年代 を推定したと ころ、セトナ イメダカとそ の他のメダカ の共通祖先と の分岐(図3 中の分岐番号 2) は、 7,400 万年前 (6,600~ 8,800 万年 前)の中生代 後期に遡るこ とが明らかに



図4 インド亜大陸の北上(Yoshida & Hamano 2015 Scientific Reports 5:8407から改変). Mya:百万年.

なりました(図3)。この時代は、インド亜大陸がゴンドワ ナ大陸から分離して(注3)、インド洋を北上している時代 に一致します(図4)。これは、この時代にメダカの共通祖 先がインド亜大陸にいた、つまり、メダカ科魚類はインド 亜大陸に起源することを意味します。そして、インド亜大 陸がユーラシア大陸に衝突・合体した後に、メダカ科魚類 はアジアに分布を拡大していったと考えられます。最尤法 (注4) を用いた祖先分布域の推定でも、メダカ科魚類は インド亜大陸起源で、その後アジアに分布を広げていった というシナリオが支持されました(図3)。

③ 社会的意義・今後の予定

日本人に馴染みの深い魚であるメダカの祖先が、はるばるインドからやってきたという のは感慨深いものがあります。メダカの祖先はインド亜大陸の上で恐竜たちと共に生き、 そして恐竜たちが絶滅した中生代末の大量絶滅をかいくぐって、今も我々の前に存在し続 けているわけです。















メダカ科魚類はダツ目(注5)に属します。ダツ目にはメダカ科の他に、サヨリ科、トビウオ科、コモチサヨリ科、そしてダツ科が含まれますが、これらの多くは海水魚です。 メダカとその他ダツ目との分岐も、インド亜大陸上で起こったと推定されました(分岐番号1)。メダカ科魚類の系統進化の歴史が明らかになったことで、メダカとその他ダツ目とが、それぞれ淡水域と海という異なる環境に生息域を求めるようになったのはなぜか、その解明に向けての道筋が示されたのではないかと考えられます。

<用語解説>

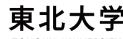
- (注1)西ガーツ地方:インドの西海岸沿いにある、標高 $1,000\sim2,700$ m の山々が全長 1,600km に渡って連なる山脈(西ガーツ山脈)と、その西側の平野部を含む地方。
- (注2)姉妹関係: グループAの共通祖先とグループBの共通祖先が、系統樹上で二分岐した関係にある時、グループAとグループBは姉妹関係にあるという。
- (注3)インド亜大陸:アフリカ大陸、南米大陸、オーストラリア、南極大陸などと共にゴンドワナ大陸を形成していた大陸の一部。1億3,000年~1億6,000年前にゴンドワナ大陸から分離し、その後北上して、3,300万年~5,500万年前にユーラシア大陸に衝突した。
- (注4)最尤法:数理統計学において、与えられたデータから、それらが得られる確率分布 の母数を推定する手法。
- (注5) ダツ目:ダツ科、コモチサヨリ科、サヨリ科、トビウオ科(以上ダツ亜目)、およびメダカ科(メダカ科亜目)の5科2亜目で構成される硬骨魚類の分類群の一つ。サンマやサヨリ、トビウオなどの水産重要種が多く含まれる。

<論文情報>

- (1) 論文タイトル: Mesozoic origin and 'out-of-India' radiation of ricefishes (Adrianichthyidae) (メダカ科魚類は中生代のインド亜大陸に起源する)
- (2) 雑誌名:Biology Letters
- (3) 著者: Kazunori Yamahira*, Satoshi Ansai, Ryo Kakioka, Hajime Yaguchi, Takeshi Kon, Javier Montenegro, Hirozumi Kobayashi, Shingo Fujimoto, Ryosuke Kimura, Yusuke Takehana, Davin H. E. Setiamarga, Yasuoki Takami, Rieko Tanaka, Ken Maeda, Hau D. Tran, Noriyuki Koizumi, Shinsuke Morioka, Vongvichith Bounsong, Katsutoshi Watanabe, Prachya Musikasinthorn, Sein Tun, L. K. C. Yun, Kawilarang W. A. Masengi, V. K. Anoop, Rajeev Raghavan, Jun Kitano
- (4) DOI 番号: 10.1098/rsbl.2021.0212
- (5) アブストラクト URL: https://doi.org/10.1098/rsbl.2021.0212
- (6) 日本時間 8 月 4 日 (水) 午前 8 時 01 分 (英国夏時間:4日 (水) 午前 0 時 01 分) 以前の公表は禁じられています。

















<問い合わせ先>

【研究内容について】

琉球大学熱帯生物圏研究センター

教授 山平 寿智

TEL: 098-895-8937

E-mail: yamahira@lab.u-ryukyu.ac.jp

長浜バイオ大学バイオサイエンス学部

准教授 竹花 佑介

TEL: 0749-64-8105

E-mail:y takehana@nagahama-i-bio.ac.jp

神戸大学大学院人間発達環境学研究科

教授 高見 泰興

TEL: 078-803-7747

E-mail: takami@people.kobe-u.ac.jp

国際農林水産業研究センター水産領域

主任研究員 森岡 伸介

TEL: 029-838-6357

E-mail: moriokas@affrc.go.jp

【報道対応について】

琉球大学

総務部総務課広報係

TEL: 098-895-8175

FAX: 098-895-8013

E-mail: kohokoho@acs.u-ryukyu.ac.jp

長浜バイオ大学

アドミッション・オフィス 広報担当

TEL: 0749-64-8100

FAX: 0749-64-8140

E-mail: kouhou@nagahama-i-bio.ac.jp

東北大学大学院生命科学研究科

助教 安齋 賢

TEL: 0 2 2 - 2 1 7 - 6 2 1 9

E-mail: satoshi.ansai.e7@tohoku.ac.jp

和歌山工業高等専門学校物質工学科

准教授 スティアマルガ・デフィン

TEL: 0738-29-8429

E-mail: davin@wakayama-nct.ac.jp

沖縄科学技術大学院大学

海洋生態進化発生生物学ユニット

研究員 前田 健

E-mail: ken.maeda@oist.jp

東北大学大学院

生命科学研究科広報室

TEL: 0 2 2 - 2 1 7 - 6 1 9 3

FAX: 0 2 2 - 2 1 7 - 5 7 0 4

E-mail: lifsci-pr@grp.tohoku.ac.jp

和歌山工業高等専門学校

総務課 総務·企画係

TEL: 0738-29-8205

FAX: 0738-29-8216

E-mail: kikaku@wakayama-nct.ac.jp













神戸大学

総務部広報課

TEL: 078-803-5453

FAX: 078-803-5088

E-mail: ppr-kouhoushitsu@office.kobe-

u.ac.jp

国際農林水産業研究センター

情報広報室 大森圭祐

TEL: 029-838-6708

FAX: 0 2 9 - 8 3 8 - 6 3 3 7

E-mail: koho-jircas@ml.affrc.go.jp

沖縄科学技術大学院大学(OIST)

メディア連携セクション 中尾

TEL: 098-966-8358

E-mail: media@oist.jp